

日本災害看護学会先遣隊 令和6年度能登半島地震活動報告

2024年1月14日(日)

活動隊員：酒井明子、金谷雅代、朝田和枝

1. 活動日時

2024年1月14日(日)0:00~16:00

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校（石川県珠洲市大谷町1字78番地）

避難所使用者数170人（約79世帯）、自宅避難134人（約50世帯）（14:00現在）

3. 被害状況（消防庁：1月14日9:00現在）

人的被害：石川県死者220名

住家被害：建物全壊396棟以上、半壊29棟、一部損壊1,046棟、
床上浸水6棟、床下浸水5棟

4. 天候 晴れ 2.9℃ 最高気温8.3℃ 最低気温-3.8℃

（避難所内 温度15.9℃、湿度55%）

5. 活動の実際

前日に引き続き避難所での支援活動

0:00~ 夜間適宜要支援者の居室巡回、トイレ介助

6:30 感染症者等状態確認、体育館内の要配慮者カルテ作成

7:00 要配慮者居室の利用者へホットタオル配布と顔拭き介助
手摺等の環境消毒

7:30 ミーティング

8:50 在宅避難者の褥瘡ケア訪問

9:00 新たな避難所入所者支援

車椅子移乗介助、段ボールベッド設置依頼し、ベッド移動

10:00 避難者食事（配膳、下膳）、マスク交換推奨

10:30 市役所職員による二次避難所への移動についての個別説明
左肘の創部が化膿した避難者の創傷部の洗浄とガーゼ交換

11:00 換気の声掛け

11:30 発熱者、感染疑いの人の隔離解除

巡回診療医師が本日来院できないことがわかる。受診予定者への説明。

13:00 居室移動補助

13:15 換気の声掛け

13:30 自衛隊医療班訪問(依頼処方が届く)

医療ニーズ調査あり、巡回診療の要望を伝える

14:00 要配慮者の状態確認

避難所アセスメント入力報告

避難所玄関先での避難者1名急病発生（ショック状態）。観察及び応急手当し、保健室へ移動。便秘と腹痛によるショック状態と思われる。状態改善傾向にあったが、本人の希

望もあり、救急車による病院受診決定。珠洲市保健医療調整本部報告。珠洲市立総合病院へ救急搬送。

15:00 次の支援者への引継ぎ

16:00 自衛隊による珠洲市立健民体育館へ

6. 考察

【健康面】

本日感染を疑う2名の避難者が隔離解除となり、感染の部屋より体育館へ移動となった。現時点では、感染拡大には至っていない。しかし、口腔清拭、換気など引き続き感染管理に注意が必要と考える。

また、避難者の多くの方に便秘症状があり、中には下剤服用を希望する避難者もいる。しかし、現在下剤の常備薬はないため、常備薬の配置について医師に相談していく必要がある。本日夕方便秘が影響でショック状態に至った高齢者がいた。長引く避難生活、栄養が偏りがちの食事、脱水、断水や停電が影響するトイレ生活、入浴など身体の清潔が保持できない環境、運動不足、孤立状態で容易に医師の診療を受けることができないことや整腸剤や便秘薬が確保できない等の様々な要因が重なり、便秘を引き起こし、強いては生命を脅かす事態に陥ったのではないかと考える。本日医師の診察が延期となったが、自衛隊医療班への依頼により、明日DMATと自衛隊で訪問診療が可能になった。このように避難所生活や在宅避難生活に耐えられなくなる高齢者や要配慮者などの医療ニーズが高い避難者が増加傾向にあるため、早期に医療に繋げる必要がある。

【避難所環境】

地域住民によるボランティア作業が提示され、住民自身が自主的に避難所環境整備に取り組まれており、土足状態の避難所ではあるが、室内はきれいに整備されている。しかし、ゴミの回収がなく、日常ゴミや排泄物のゴミの山も避難所のところどころに見受けられた。小中学校の児童が利用する場所でもあるため、早急にゴミ処理の検討も必要ではないか。

7. 参考写真

